

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 千鳥会	代表者	吉村 秀樹	法人・事業所の特徴	「ぬくもり」の理念 ☒ ぬくもりのあるサービスと ☒ くつろげる雰囲気でもうひとつの我が家を ☒ 利用者様と作っていきます をモットーに家庭的な雰囲気で、暖かい人のぬくもりを感じて頂けるように支援しています。ご本人・家族の必要に応じ随時、通い・訪問・泊まりの3つのサービスを柔軟に提供し、できるだけ住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、又ご家族の介護負担が軽減されるように努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもり	管理者	沖田 みゆき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	2人	1人	1人	2人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	事業所の取り組みが分かるよう運営推進会議で発信していく	行事等は写真を通じて見て分かるよう工夫している。個別ケース報告でも状況や支援方法など分かりやすく記入するようにした。	移転し園児との交流があるのはとても良い。	
B. 事業所の しつらえ・環境	—	—	移転し明るくきれいになり良かった。広くなっていい。園児もいて高齢者には良い環境	
C. 事業所と地域のかかわり	感染症の状況を見ながら地域のイベントや行事等に参加していく	地域のイベントに参加し交流を持つ事ができたが、地域からの相談事や来所等はなかった。	ぬくもりのことを知らない人も多いと思うのでPRするようにしたいと思う。	地域に必要とされる拠点となるため、まずは地域に積極的に出向き地域住民との交流や関りを通してまずは事業所の認知度を上げ相談しやすい関係を作る。また利用者以外の地域の心配な方の情報を得るために地域ケア会議等へ積極的に参加し情報収集に努める。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	積極的に地域に出向き、まずはぬくもりを知ってもらうようにしていく	本人の生活歴や地域、友人との関りをしっかりアセスメントし関係性が途切れないうよう支援を行った。	なじみの店、友人や民生委員、近隣住民との関係性を築いていこうとしているのはいいことだと思う。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	—	—	ケース報告を通じて利用者の状況や支援方法などよくわかるようになった。	
F. 事業所の 防災・災害対策	防災計画を運営推進会議で発信していく。地域と一緒に防災訓練できるよう働きかけていく	運営推進会議で消防訓練の報告や施設内消防について説明を行った。	事業所の防災計画がよく分からない。コロナ禍で地域も防災訓練をしていないので一緒にできていない。	近隣地域のハザードマップなどを使用し分かりやすく防災計画を運営推進会議で発信していく。地域と一緒に防災訓練できるよう働きかけていく